

もっと
すごい!

PORT OF HACHINOHE



2024年7月発行

NO. 54



ハチヨウ

八戸港だより

ポート博士

TOPIX

P2・2023年八戸港コンテナ貨物取扱実績
・みなと通信

P3・八戸セミナー2023開催
・在日ノルウェー大使 来八
・八戸港韓国ポートセールスミッション2024

P4・王子物流株式会社 寄稿

P5・川崎近海汽船株式会社 寄稿

P6・国土交通省東北地方整備局
八戸港湾・空港整備事務所 寄稿

P7・令和6年度八戸港コンテナ関連
補助事業のご案内

P8・航路情報、各お問い合わせ先等



八戸港新フェリーターミナルビル

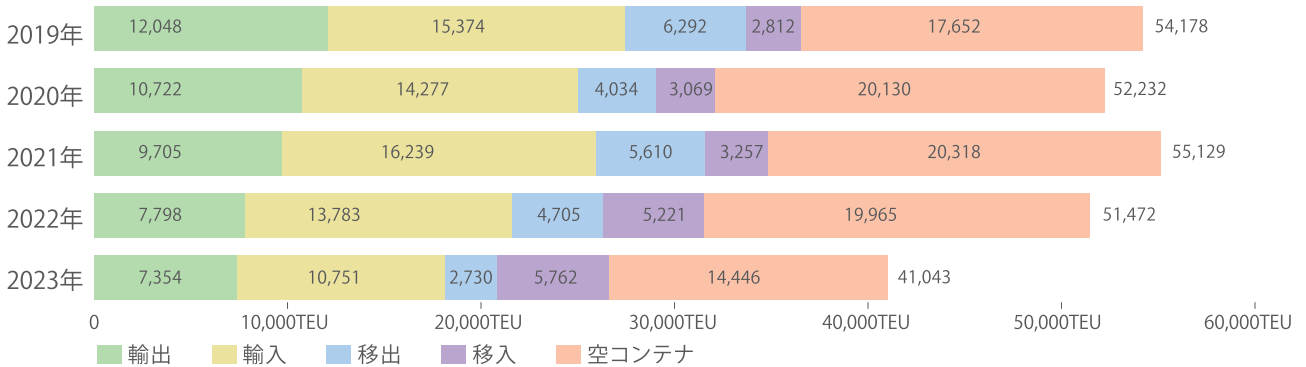
提供:公益財団法人 青森県フェリー埠頭公社

2023年八戸港コンテナ貨物取扱量統計(速報値)

※八戸港国際物流拠点化推進協議会による独自集計

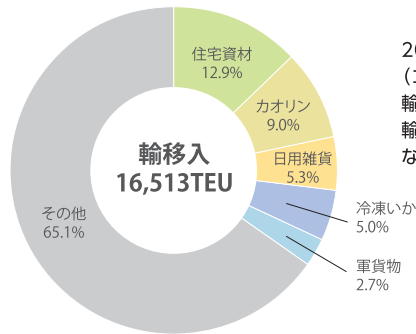
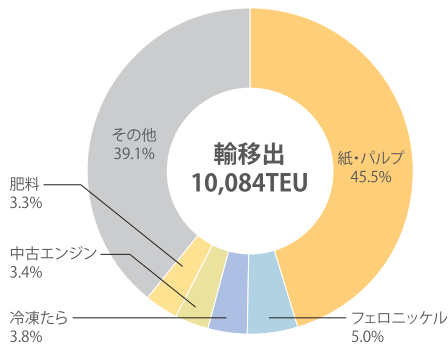
取扱量の推移

(単位:TEU)



※TEUとは、コンテナ船の積載能力を示す単位で、1TEUは20フィートコンテナ1個分を示します。コンテナを単純合計数で表示する代わりに、20フィートコンテナ1個を1、40フィートコンテナ1個を2として、コンテナ貨物量をこの数値の合計で表示する計算方法です。

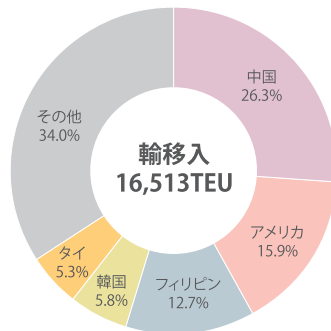
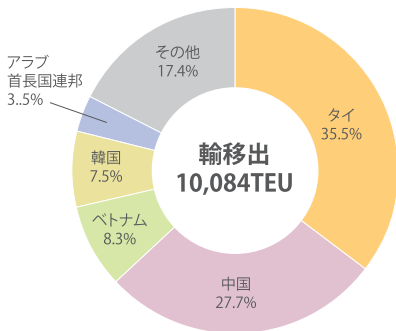
2023年 コンテナ貨物品種別内訳



2023年のコンテナ貨物の品種別内訳(コンテナ個数での割合)を見ると、輸移出では紙・パルプが45.5%で1位、輸移入では住宅資材が12.9%で1位となっています。



2023年 コンテナ貨物国別内訳



国別の内訳をみると、輸移出はタイが35.5%で1位、輸移入は中国が26.3%で1位となっています。



※構成値の数値は、小数点以下第2位を四捨五入しているため、個々の集計値の合計は、100%とならない場合があります。

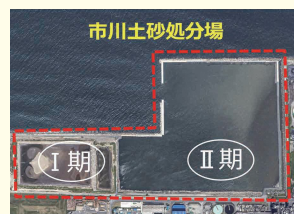


～八戸港湾・空港整備事務所より～

当事務所では、八戸港の中央に位置する馬淵川河口部からの流下土砂による航路泊地の埋没を解消し、大型船舶の安全な航行を確保するために国直轄事業による浚渫工事を行っています。併せて、浚渫土砂を安定的に処分するため、市川地区において土砂処分場の整備を行っています。

市川土砂処分場は2工区に分割して整備を進めています。I期工区は平成29年度に完成し浚渫土砂の投入を行っており、現在は残るII期工区を整備中です。令和6年5月26日(日)、ケーソン5函の据付作業が完了し、II期工区の護岸締め切りが完了しました。

大型貨物船の安全な航行や荷役効率向上のため、今後も浚渫工事や土砂処分場整備を着実に進めてまいります。



市川土砂処分場全景
(令和5年6月撮影)



ケーソン据付状況
(令和6年5月撮影)

八戸セミナー2023開催

文/八戸港国際物流拠点化推進協議会 事務局員 おおいり みえ 大入 美恵

八戸市・八戸港国際物流拠点化推進協議会・八戸市企業誘致促進協議会は、八戸港の利用促進及び当市の立地環境の優位性を首都圏及び中部圏の企業にPRするため、令和5年7月26日に東京、翌27日に名古屋で「八戸セミナー2023」を開催しました。

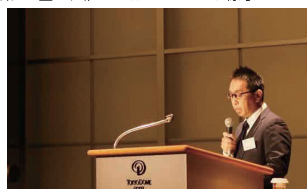
新型コロナウイルス感染症の影響による人数制限もなく、セミナーには船会社をはじめ、荷主や関係者など延べ413名（東京323名、名古屋90名）の皆様にご出席いただきました。

セミナーでは、熊谷八戸市長から企業誘致や八戸港の利用促進を図るための各施策を紹介するとともに、青森県港湾空港課による八戸港に関する講演、東京会場ではENEOS株式会社 執行役員 リソースズ & パワーカンパニー ガス事業部長 富士元 宏明 様、南星海運ジャパン株式会社 セールスグループ部長代理 小櫃 正人 様から、名古屋会場では、多摩川精機株式会社 代表取締役社長 松尾 忠則 様から、それぞれ八戸港におけるサービスや八戸進出のメリットについてご講演いただきました。

情報交換会では、セミナーの内容を踏まえた積極的な意見交換・交流を通して、世界に開かれた八戸市・八戸港の魅力を個別にPRし、八戸セミナー2023の幕を閉じました。



第26回 八戸セミナー2023の様子



南星海運ジャパン株式会社
セールスグループ 部長代理 小櫃正人氏

在日ノルウェー大使 来八

文/八戸港国際物流拠点化推進協議会 事務局員 もろ あらた 毛呂 新

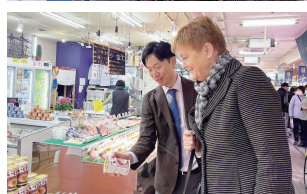
ノルウェー大使館と八戸市の水産関係者との交流をきっかけに、令和5年5月18日にノルウェー大使館のクアルハイム水産参事官とツァイ水産アドバイザーが来八されました。

両者は、ノルウェーの漁業制度や八戸の漁業の現状などについて熊谷市長と懇談したほか、サバをはじめとしたノルウェー産水産物の有効活用について、水産・観光・飲食などの様々な分野との関係者と情報交換を行いました。

このことがきっかけとなり、令和6年1月29日に、イグルムノルウェー大使が来八され、熊谷市長や、水産関係者と意見を交換したほか、ノルウェーの水産物の加工・販売状況の確認のため現地を視察しました。

今回の来八では、八戸ならではの食文化とそのおいしさを知って頂きました。

今後、大使が自らの体験に基づき八戸市を紹介していただくことで、ノルウェー内での認知度が高まり、更なる交流の促進や、経済的なつながりの強化など、関係が深まることが期待されます。



ノルウェー大使視察の様子

八戸港韓国ポートセールスミッション2024

文/八戸港国際物流拠点化推進協議会 事務局員 いわき かずと 岩木 和人

八戸港では、現在、中国又は韓国と直接つながるコンテナ定期航路として、韓国船社4社により、3航路・週3便のサービスが運行されています。1998年に初めて韓国航路1航路が開始されて以来、多くの韓国船社が参入し、中国への航路延伸や寄港便数の増加等、サービスの拡充が図られています。

このことから、八戸港国際物流拠点化推進協議会と八戸市は、2024年1月15日～18日の期間、韓国（釜山広域市・ソウル特別市）に渡航し、「八戸港韓国ポートセールスミッション2024」を実施しました。

渡航中は、コンテナ取扱量世界第7位（2023年速報値）である釜山港を管理する釜山港湾公社や、八戸港でサービス展開する韓国船社を訪問し、サービスの維持及び拡充を要望するとともに、八戸港発展に向けた意見交換を行いました。

各訪問先からは、心温まる歓迎をいただき、今後も連携しながら八戸港の発展に取り組んでいくことを、改めて共に認識したところであり、とても有意義なミッションとすることができました。今後とも、積極的なポートセールスを展開し、八戸港の振興に努めて参ります。



釜山港視察、韓国船社訪問の様子

八戸増便で24年問題対応やモーダルシフトによるCO2削減に寄与

文/王子物流株式会社 営業統括本部 RORO船事業部 事業部長 和田 芳明

王子物流株式会社は、1999年、苫小牧港と東京港・品川ふ頭を結ぶRORO航路に3船を投入し開設しました。グループ会社の王子製紙苫小牧工場が出荷する新聞巻き取り紙を関東まで輸送し、関東からは再生資源となる古紙を苫小牧工場へ輸送しております。

2019年より老朽化に伴う3船を順次リプレースを実施するも、紙需要の低迷やコロナ禍により輸送貨物が大幅に減少しました。

三菱製紙と王子ホールディングスが業務提携したのを機に、2020年12月より八戸港に週1便を追加寄港開始しました。2023年7月より週6便に増便し利便性を格段に向上させました。

2023年10月に王子物流八戸事務所を新設しました。営業活動も強化し地元運送事業者や荷主に対して積極的にモーダルシフトへの働きかけを実施しております。「2024年問題」の影響が具体化するのに先駆けたサービスの利用拡大を図っています。

1週間の運航スケジュール例

曜日	土	日	月	火	水	木	金
苫小牧	■	●	▲	▲	■	●	▲
八戸	■	▲	●	▲	■	●	■
東京	▲	●	■	▲	●	■	▲



王子物流RORO船(海王丸)

1. 充実の運航スケジュール!

	入港 東京発 ↓ 八戸行	出港 八戸発 ↓ 苫小牧行	入港 苫小牧発 ↓ 八戸行	出港 八戸発 ↓ 東京行
八戸港	20:00 着	23:00 発	18:00 着	22:00 発

八戸→東京・関東近郊 3日目配送可能
八戸→苫小牧・札幌市近郊 2日目配送可能

2. 国内最大級のRORO船3隻を運航 シャーシ192台、乗用車200台を積載可能!

全長は190 m。取扱い貨物は、紙製品、飲料、食品(冷凍・冷蔵・冷温)、鋼材、金属製品等、多数。

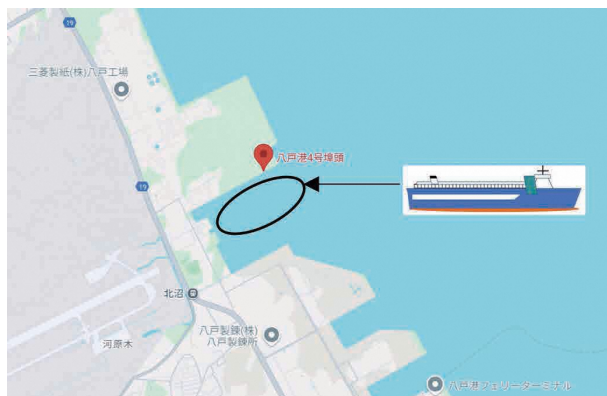
2024年問題・環境対応・BCP対策の観点から幅広い荷主様にご利用頂いております。

※国土交通省「内航船省エネ格付制度」で最高評価(5スター、2020年10月)



3. 2023年10月～八戸事務所を開設!

王子物流として東北初となる事務所を開設。2023年10月より担当者が駐在。



王子物流RORO船の寄港場所

増便の背景

トラックドライバーの残業時間の上限規制「2024年問題」により全国で約35%の荷物が運べなくなると言われております。北東北の物流の玄関口である八戸港でモーダルシフトを促進することにより、2024年問題解決に貢献します。

王子物流RORO船とは

1999年に苫小牧-東京航路を開設。2020年12月から八戸港に週1便(南下)寄港開始。2023年7月から週6便(北上3便・南下3便)八戸港寄港を増便。同年、10月には八戸事務所を開設しました。

新フェリーターミナルビルを紹介 及び八戸～苫小牧航路開設51年目を迎えて

文/川崎近海汽船株式会社 八戸支社長 大坪 真二

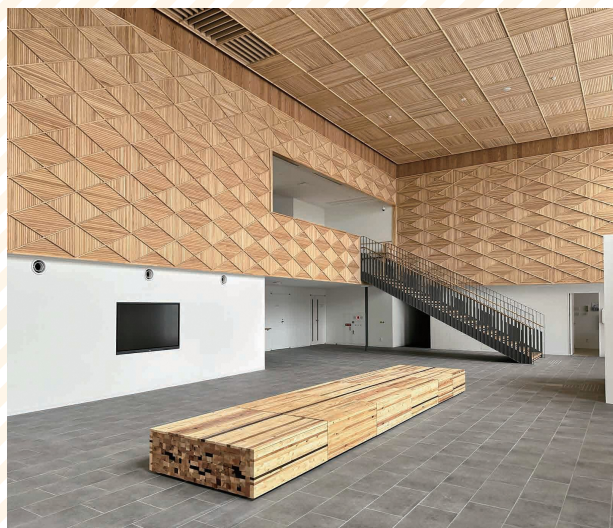
旧ターミナルビルは1982年に供用開始し、2011年3月11日に発生した東日本大震災では、津波により高さ1.9mまでビルが浸水するなどの大きな被害を受けました。4か月後には修復・復旧しましたが、昨今の老朽化や利便性向上などのため、(公財)青森県フェリー埠頭公社が新たに八戸港新フェリーターミナルビル(以下、“新ターミナルビル”という)を建設し、本年2024年2月3日(土)に供用開始となりました。

新ターミナルビルは、第一バースと第二バースの中間に位置し、鉄筋コンクリート3階建てで延べ床面積は約3,600平方メートルあり(旧ターミナルビルの約2倍の広さ)、氷都八戸をイメージした白い壁の外観と左右に翼を広げたようなボーディングブリッジが特徴です。1階の二層吹抜けエントランスロビーは、「南部菱刺し」や「南部裂織」をモチーフに青森県産木材が使われており、温かみのある開放的な空間となっています。2階には乗船手続きカウンター、待合室、ボーディングブリッジの通路があります。これまで第2バースまではシャトルバスで送迎していましたが、今後は屋外に出ることなくボーディングブリッジから直接歩いて乗降できるようになり、安全性や利便性が向上しました。2階待合室付近にはシルバーフェリーサービス㈱が運営する広々とし

た売店や大きな窓から港や船・フェリーを眺めることができるレストランがあり、新しいメニューも加わりご利用のお客様にご好評をいただいております。是非お近くにお寄りの際には是非お立ち寄りいただき、当レストランで八戸の味をご賞味ください。3階には展望デッキが設置され潮風を感じながら八戸港が一望できます。

さて、ここまで新ターミナルビルについて紹介してまいりましたが、この新居で新たな一歩を踏み出した川崎近海汽船シルバーフェリーは、1973年4月に八戸～苫小牧航路を開設し、現在は八戸～苫小牧間を1日4往復運航しており、昨年2023年には航路開設50周年を迎えました。今年は航路開設51年目となり、新しくなったフェリーターミナルビルでスタートを切ることができ嬉しく思います。

また、八戸市の交通アクセスも近年では三陸沿岸道路の開通など、周辺からの交通アクセスも益々良くなってきております。物流の2024年問題等ございますが、物流、ビジネス、観光等で八戸～苫小牧フェリーをご利用いただき、皆様に末永く愛され事を願いながら、八戸港の発展に努力していきたいと考えておりますので、宜しくお願い致します。



1階エントランス



2階乗船手続きカウンター

2024年問題に関するトライアル輸送の動き

八戸港湾・空港整備事務所寄稿

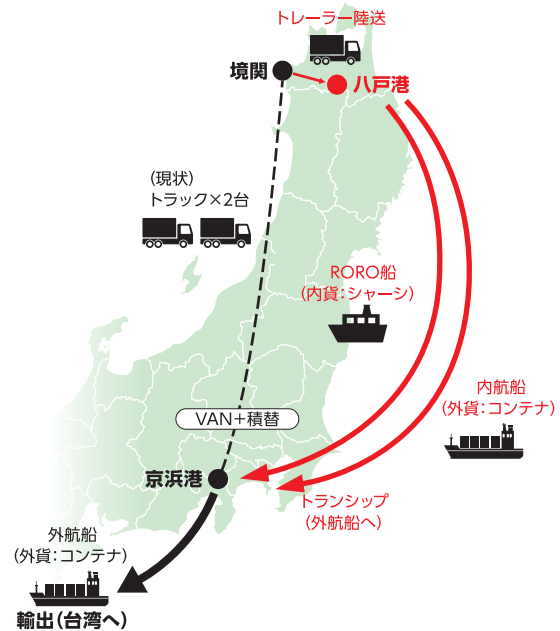
文/国土交通省 東北地方整備局八戸港湾・空港整備事務所 企画調整課長 櫻井 博孝

現在、我が国では国内貨物輸送の約8割をトラック輸送が占めている中、2024年4月から適用されたトラックドライバーの時間外労働規定による陸上輸送能力の不足「2024年問題」が懸念されています。このため、国内物流ネットワークの維持に向け、特に長距離輸送の受け皿として、内航フェリー・RORO船・国際フィーダーコンテナ船へのモーダルシフトが可能となるよう、輸送力を強化していく必要があります。

このような背景から、当事務所では、現状、京浜港まで陸上運送し輸出している主な荷主及び商社に、RORO船・国際フィーダー船を利用したトライアル輸送への関心をヒアリングするとともに、トライアル輸送の働きかけを実施してきました。

そのなかで、海外へ農産品の輸出を手がける商社より、青森県(弘前)産りんごの新たな輸送形態構築について相談を受け、港湾運送事業者や船社、青森県、八戸市などと意見交換を重ね、八戸港を利用したトライアル輸送が実現しました。

トライアル輸送は、八戸港に寄港するRORO船、国際フィーダーコンテナ船を活用し、「トレーラー+RORO船」、「トレーラー+コンテナ船」の2つの輸送形態で計3回(RORO船2回、コンテナ船1回)実施しました。



トライアル輸送の結果について、「コスト」、「リードタイム」、「品質」の評価項目で同社に分析していただきましたので紹介いたします。

まず「コスト」については、現状の弘前から京浜港までのトラック輸送費用に対し、RORO船は約1.2倍の費用増、コンテナ船は約1.1倍の費用増となりました。現状では陸上輸送より海上輸送の方が高い結果となっていますが、今後トラックドライバーの時間外労働規制による輸送供給の減少により輸送運賃が上昇することや燃料費、人件費などの値上げにより陸上輸送と海上輸送のコスト差は縮まると考えられています。

続いて「リードタイム」ですが、弘前から台湾までの輸送日数は、RORO船利用時は現状と同等でしたが、コンテナ船は八戸港から京浜港までの間に他港に寄港することや京浜港で内航船から外航船へトランシップする際に待ちが生じることで、リードタイムが長くなっております。

海上輸送したりんごの「品質」については、RORO船、コンテナ船ともに台湾到着時の品質不具合はありませんでした。コンテナ船についてはコンテナへの積み込み時からリーファーコンテナを利用できるため、台湾到着まで最適な温度でりんごを輸送することが可能となっています。

一方、RORO船については、積荷の大きさの関係で冷蔵シャーシを利用することができず、京浜港までは常温シャーシでの輸送となりました。トライアル実施時期が10月末であったため外気温がそれほど高くなく、結果として品質の不具合はありませんでしたが、今後RORO船を利用する場合は外気温が16℃以下となる11月から3月を目安に利用可能と判断されています。

本トライアル輸送の取り組みにより、商社では2024年産のりんごから輸出の一部を八戸港からの海上輸送にシフトしていただけることになりました。

今後は他貨物の輸送に今回の実績が展開できる可能性を視野に入れて、青森県や八戸市などと連携して八戸港の更なる利用促進を図っていきたいと考えています。



RORO船への積込状況



コンテナ船への積込状況



2024年度

八戸港コンテナ関連 補助事業のご案内



申請受付期間

- 1、2、7... 2024年7月1日(月)～11月29日(金)
- 3～6... 2025年1月6日(月)～1月31日(金)

補助対象期間

- 1～7... 2024年1月1日(月)～12月31日(火)

1 ① 新規・シフト貨物利用促進事業費補助金 (2、3とは併用不可)

助成対象

アまたはイのいずれかを満たす荷主
 ア、八戸港を新規に利用してコンテナ貨物の輸出入を行う荷主(過去2年間利用なし(※1))
 イ、「八戸港でのコンテナ貨物取扱量を前年同期比で増加」させ、かつ、「シフト貨物(昨年他港利用貨物と同一品目を八戸港へシフトさせた貨物)を有する」荷主
 (※1) 補助金の申請ではなく、実際のコンテナ貨物の利用が過去2年間ない場合を指す

助成金額

補助対象期間における新規貨物・シフト貨物の取扱量(※2)に応じて **20,000円/TEU**

(※2) シフト貨物の場合、「シフト貨物増加分」または「八戸港での前年比取扱総量の増加分」のいずれか少ない値を適用

さらに

・リーファーコンテナ加算
 リーファーコンテナ利用分に対して **2,500円/TEU** → **1荷主あたり最大225万円補助!**

2 コンテナ貨物陸送費支援補助金

助成対象

八戸港でのコンテナ貨物取扱量を前年同期比で増加させ(新規利用含む)、かつ、出荷・納品場所と八戸港コンテナターミナル間が直線距離で**30km以上**離れている輸出入貨物の陸送経費(トラック、トレーラー等の輸送費及び付帯する電源シャーシ利用料。ただしパンニング料及び倉庫保管料は除く。)を要する荷主
 補助対象貨物に係る陸送経費の3分の1以内の額(上限は下表のとおり)

助成金額

陸送距離	補助単価の上限
30km以上100km未満	10,000円/TEU
100km以上200km未満	20,000円/TEU
200km以上	25,000円/TEU

1荷主あたり
最大180万円補助!

2 八戸港モーダルシフトトライアル輸送事業費補助金(2024年度 新規) (1、3とは併用不可)

助成対象

前年他港を利用した貨物を八戸港での**トライアル輸送経費**(海上運賃、日本国内輸送経費、通関費用、輸入又は輸出の手続きに係わる費用)を要する荷主

助成金額

補助対象経費の**2分の1以内**の額 → **1荷主あたり最大100万円補助!**
 ※輸送回数は最大3回まで

3 継続大口利用者支援事業 (1-1・2とは併用不可)

助成対象

八戸港で3年間(当年及び過去2年)のコンテナ貨物平均取扱量が**150TEU以上**の荷主

助成金額

当年取扱量に応じて **1,000円/TEU(上限150万円/社)**

4 八戸港くん蒸上屋利用事業費補助金

助成対象

八戸港くん蒸上屋を利用する荷主

助成金額

1室1回あたり **50,000円**

丸大豆、原木、
 牧草などに使われて
 あるんじゃない!



5 小口混載貨物輸送事業費補助金

助成対象

八戸港で小口混載貨物サービスを利用して輸出入を行う荷主

助成金額

貨物R/T(1t又は1m³のいずれか大きい方)あたり **3,000円**

コンテナに満たない
 小口の積載量でも
 補助されるんだ!



6 小口混載貨物サービス事業支援助成金

助成対象

八戸港で小口混載貨物サービスを提供する事業者

助成金額

小口混載貨物を対象に **50,000円/コンテナ**

7 国際定期コンテナ航路運航支援事業費補助金

助成対象

外航航路(八戸港と海外の港湾を起点、寄港地又は終点とする航路)又は国際フィーダー航路(八戸港と東京港、横浜港又は川崎港のいずれかを起点又は終点とする航路)を有する船社であること。
 ① 新規航路の開設、トライアル運航、スポット配船:八戸港への寄港回数
 ② 既存航路:令和6年における八戸港への寄港回数から、令和5年における八戸港への年間寄港回数を差し引いた寄港回数

助成金額

- ① 外航航路:1寄港あたり **30万円(上限150万円)**
- ② 国際フィーダー航路:1寄港あたり **27万円(上限135万円)**

荷主向け

LCL事業者向け

船会社向け

八戸港コンテナ定期航路就航状況 (2024年6月現在)

□ 外航 □ 国際フィーダー □ 国内航路

コンテナ航路	船社名(日本総代理店)	集荷代理店	寄港間隔	寄港地
中国・韓国航路 (共同配船)	南星海運(株)	八戸港湾運送(株)	週1便 (月) 共同配船	(NCQ 航路) 青島→大連→釜山→新潟→秋田→苫小牧→ 八戸(月) →仙台→常陸那珂→釜山新港→ 釜山→蔚山→光陽
	高麗海運(株)	ナラサキスタックス(株) 八戸支店		
韓国航路 (協調サービス)	長錦商船(株)	八戸通運(株)	週2便 (火・土) 協調サービス	(THS2 航路) 釜山→釜山新港→仙台→ 八戸(火) →苫小牧→ 舞鶴→境港→釜山→釜山新港→清水→鹿島→ 常陸那珂→仙台→ 八戸(土) →苫小牧→ 秋田→釜山
	興亜LINE(株)	北日本ポート サービス(株)		
北米航路	Swire Shipping	八戸港湾運送(株)	休止中	—
国際フィーダー 航路	(株)横浜コンテナライン	八戸通運(株)	週1便(金)	横浜→苫小牧→八戸(金)→釜石→仙台→横浜
	井本商運(株)	八戸港湾運送(株)	週1便(金)	横浜→東京→八戸(金)→釜石→仙台→横浜
	鈴与海運(株)	八戸通運(株)	週1便(火)	横浜→東京→八戸(火)→苫小牧→横浜
国内航路	鈴与(株)	八戸港湾運送(株)	月1便	清水→市原→大船渡→八戸→苫小牧→函館

主な寄港地と八戸港の所要日数(最短) (2024年6月現在)

寄港地	輸出	輸入
釜山(韓国)	6	5
光陽(韓国)	8	※
蔚山(韓国)	7	※
基隆(台湾)	9	14
台中(台湾)	9	14
高雄(台湾)	13	15
香港(中国)	8	10
大連(中国)	12	7
青島(中国)	10	9
上海(中国)	7	10
天津新港(中国)	10	12
寧波(中国)	7	10

寄港地	輸出	輸入
蛇口(中国)	13	15
シンガポール	18	13
レムチャパン(タイ)	11	12
マニラ(フィリピン)	10	10
ホーチミン(ベトナム)	9	12
ハイフォン(ベトナム)	12	13
タンジュンプリオク(インドネシア)	19	13
ムンバイ(インド)	31	37
ポートクラン(マレーシア)	19	13
ドバイ(UAE)	34	39
タコマ(米国西岸)	27	34
ロングビーチ(米国西岸)	25	27

寄港地	輸出	輸入
シアトル(米国西岸)	27	34
ニューヨーク(米国東岸)	53	58
バンクーバー(カナダ)	28	32
ブリスベン(オーストラリア)	28	24
オークランド(ニュージーランド)	35	30
サウサンプトン(イギリス)	50	50
ルアーブル(フランス)	40	50
ブレーメルハーフェン(ドイツ)	45	45
ハンブルク(ドイツ)	45	50
ロッテルダム(オランダ)	41	42
アントワープ(ベルギー)	50	55

※光陽・蔚山(韓国)については、釜山にまともた後に輸入されます。

八戸港ご利用のお問い合わせは次の各社へ!

海貨業者

- ◆八戸通運株式会社 海運部
(株)シノコー成本(株)横浜コンテナライン 集荷代理店)
TEL:0178-29-0202 FAX:0178-20-3281
- ◆八戸港湾運送株式会社 コンテナ事業部
(南星海運ジャパン(株)、井本商運(株)、鈴与海運(株)、
鈴与(株)、オリエントオーバーシーズコンテナラインリミテッド
(OOCL)日本支社、
インターエイシアライン(株) 集荷代理店)
TEL:0178-29-3177 FAX:0178-29-3130
- ◆新丸運株式会社 営業部
TEL:0178-20-2325 FAX:0178-20-2356
- ◆八戸運輸倉庫株式会社 営業部
TEL:0178-28-2401 FAX:0178-28-6976
- ◆三八五流通株式会社 八戸区域事業所
TEL:0178-52-7755 FAX:0178-52-7751
- ◆日本通運株式会社八戸支店
TEL:0178-20-3040 FAX:0178-20-3154
- ◆ナラサキスタックス株式会社八戸支店
(高麗海運ジャパン(株) 集荷代理店)
TEL:0178-21-6000 FAX:0178-21-6050
- ◆北日本ポートサービス株式会社
(SITC JAPAN(株)、興亜LINE(株) 集荷代理店)
TEL:0178-20-2148 FAX:0178-29-3130

海運会社(国内総代理店)

- ◆南星海運ジャパン株式会社 【東京都】 中国・韓国航路 TEL:03-5843-6100 FAX:03-5843-6110
- ◆高麗海運ジャパン株式会社 【東京都】 中国・韓国航路 TEL:03-3500-5051 FAX:03-3500-5095
- ◆株式会社シノコー成本 【東京都】 韓国航路(長錦商船(株)) TEL:03-6278-6032 FAX:03-6278-6038
(興亜LINE(株)) TEL:03-3273-4981 FAX:03-3281-8605
- ◆株式会社横浜コンテナライン 【横浜市】 国際フィーダー航路(横浜)
TEL:045-227-8863 FAX:045-681-8885
- ◆井本商運株式会社 【神戸市】 国際フィーダー航路(東京・横浜)
TEL:078-322-1600 FAX:078-322-1620
- ◆鈴与海運株式会社 【静岡市】 国際フィーダー航路(東京・横浜)
TEL:054-354-3100 FAX:054-354-3102
【東京営業所】 TEL:03-3432-7159 FAX:03-3432-0896
- ◆鈴与株式会社 【静岡市】 国内定期航路(清水・苫小牧)はこ廻船東廻り航路
TEL:054-365-1348 FAX:054-365-1311
- ◆オリエントオーバーシーズコンテナラインリミテッド(OOCL)
日本支社【東京都】インド・東南アジア航路(横浜港トランシップ)
TEL:03-3493-6001 FAX:03-3493-6405
- ◆インターエイシアライン株式会社 【東京都】 東南アジア航路(横浜港トランシップ)
TEL:03-3493-6001 FAX:03-3493-6405
- ◆SITC JAPAN株式会社 【東京都】 中国・アジア航路(横浜港トランシップ)
TEL:03-6262-7778 FAX:03-6262-7117
- ◆ジャパン・パン・ライズ株式会社 【東京都】 小口混載貨物サービス(輸出)
TEL:03-6779-9610 FAX:03-6779-9650
- ◆イーキューワルドフイド株式会社 【東京都】 小口混載貨物サービス(輸出入)
TEL:03-5643-3600 FAX:050-3153-1658



八戸港国際物流拠点化推進協議会 Hachinohe Port Promotion Commission

事務局 / 八戸市商工労働まちづくり部商工課 貿易・物流対策グループ
〒031-8686 青森県八戸市内丸一丁目1-1 八戸市庁別館5階 TEL.0178-43-2111(代表) TEL.0178-43-9244(直通) FAX.0178-43-2146
<E-mail> hppc@hachinohe-port.org <ホームページ> https://hachinohe-port.org/